

「集団心理」指導案

平成24年1月31日

作成者 岡田・笹川・福本

1 単元名 「集団心理」

2 本時の展開

(1) 本時のねらい

集団思考には多くの問題点があることを理解したうえで、自由に意見を言い合える雰囲気作りの大切であることに気づく。

(2) 展開の視点

2つのモデルを見せ、それについて考えていく中で、不敗幻想という言葉を知り、集団思考の問題点に気づかせる。また、集団思考や不敗幻想というものは、非常に身近な物であることを教える。そのことから、自由に発言できる雰囲気が大切であることに気づかせる。

(3) 本時の展開

時間	学習内容	○支援
2 導入	・ 集団心理をやるということを伝える。	
13 展開	・ 不敗幻想のモデル①を見せる。 ・ モデルの状況を考え、どうしてそのような状況になったかを考える。 ・ ①のモデルをもう一度見せ、不敗幻想という言葉の意味を理解する。 ・ 同調しないで、反対意見を言った場合はどうなるのかを考える。	○ パワーポイントを使ってモデルを見せる。 ○ 個人→ペアでの話し合いをする。 ○ 不敗幻想について説明する。 ・ 不敗（負けない）幻想であること ・ どういう状況のことをいうのか ○ 話し合いの中で出ない場合は、教師側から問いかける。 ○ 集団思考の最悪のケースのモデル②を見せる。
5 終末	・ 少数の意見を聞いて、成功した場合の例を見て、少数の意見の大切さに気づく。 ・ まとめ 不敗幻想になりうる状況を考える。	○ 川の例をだし、一人の意見をちゃんと聞くことの大切さを伝える。 ○ 集団思考の問題点を理解したうえで、自由に意見を言い合える雰囲気作りの大切さを伝える。

